

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 美幌町社会教育委員会議 (第2回)
開 催 日 時	令和4年5月27日 (木) 18時30分 開会 20時00分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 2階 会議室7・8
出 席 者 氏 名	委 員: 牛島委員長、柰師副委員長、酒井、伊藤、辻、茂手木、宮崎、寺田、國澤、下山、西谷内 各委員 (11名出席) 教育委員会: 矢萩教育長、遠藤教育部長、立花社会教育課長、浅野スポーツ振興課長、鬼丸博物館課長、竹花図書館長 (6名出席)
欠 席 者 氏 名	関谷、澤田 各委員 (2名)
事務局職員職氏名	野村社会教育グループ主査、山本文化振興グループ主査 (2名出席)
議 題	報告事項 (1) 社会教育関係各課における協議会・委員の設置状況 (2) 第7次美幌町社会教育中期計画単年度評価結果 (令和3年度分) 協議事項 (1) 令和4年度 美幌町社会教育委員会議の年間計画 (2) 令和4年度 美幌町社会教育関係各課事業計画・年間事業予定 (3) 美幌町図書館整備基本構想 (4) 令和4年度 美幌町社会教育委員の研究調査 その他
会議の公開又は非公開の別	公 開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	なし
会議資料の名称	(1) 資料1 社会教育関係各課における協議会・委員の設置状況 (2) 資料1-2 同 (追加) (3) 資料2 第7次美幌町社会教育中期計画単年度評価結果 (4) 資料3 令和4年度社会教育関係各課事業計画・年間事業予定 (各課重点事業) (5) 資料4 同 (年間事業計画・行事予定) (6) 資料5 美幌町図書館整備基本構想 (7) 資料6 各課課長・館長連絡事項 (8) その他 (教育委員会行事予定、各種事業募集チラシ等)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

令和4年度 美幌町社会教育委員会議
(第2回)議事録

1 開 会

(牛島委員長)

皆様こんばんは。

定刻となりましたので、これより令和4年度第2回美幌町社会教育委員会議を開催します。本日は、大変お忙しいところお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局より報告事項があります。

(立花社会教育課長)

報告事項を申し上げます。

本日の会議ですが、関谷委員、澤田委員より欠席のご連絡をいただいております。

本日の会議は、美幌町自治基本条例第11条の規定に基づき、公開で実施いたします。

次に本日の会議の議案と資料の確認をさせていただきます。先に送付いたしました議案と資料をお持ちいただいておりますでしょうか。

本日追加資料ということで、資料6、各課長・館長からの連絡事項というA4の紙が1枚ございます。それから、令和4年6月の行事予定表ということで表形式のものが1枚ございます。それからカラー刷りのデュアスロンの募集要項、次にトライプレインのコンサートのチラシを置いてございます。次に資料1の2ということで、各委員・協議会の委嘱状についてですが図書館協議会委員以外の委員名簿について追加で配布させていただきます。それから差替ということで資料2を差替で配布しております。また図書館だよりを配布させていただきます。以上が本日の配布資料と差替資料となりますので、もし不足があればお申し付けください。以上で報告事項を終わります。

2 開会あいさつ

(牛島委員長)

それでは、開会にあたりましてご挨拶を申し上げます。改めましてこんばんは。

コロナについては少し下火になってるかなというところでありまして、このまま収まっていたきたいと思っておりますのでございます。

本日の会議はご案内のとおり報告事項が2点、協議事項が4点ございます。中でも協議事項の3点目でございますが、美幌町図書館整備基本構想について今日ご説明をいただけたということですので、資料を見ながら楽しみにきました。この後課長からも話がありましたけど、今日はボリュームのある中身になっておりますので、何とか精力的に進めてまいりたいと思っております。しかしながら、ご意見があれば是非積極的にお話いただければと思っておりますので、この後、よろしく申し上げます。

続きまして矢萩教育長よりごあいさつをいただきます。

(矢萩教育長)

改めまして皆様お晩でございます。何かとお忙しい時期に加えて、夜分お疲れのところご出席いただきありがとうございます。

皆さん、すでに新聞等でご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、当委員会の関谷正樹委員が6月1日付で大空町教育委員会教育長に就任されることに伴いまして、5月30日付で委員を辞任する旨申出がありました。ご本人は本日、用務の都合上来られませんけれども、くれぐれも皆さんによりしくということで伺っておりますのでこの場を借りてお伝え申し上げます。

また、委員長の方からもお話ありましたが、新型コロナウイルス感染症の関係でございます。先週1週間の感染者数が本町で71名と非常に多い状況でありました。しかしながら、クラスターのような集団感染事例があったわけではないと伺っております。現在は学校関係におきましても、学級

閉鎖もなく、深刻な状況ではないと認識し

ております。感染予防にはマスク、黙食、手洗い、消毒と日常の検温、部屋の換気、さらには少しでも体調に異変を感じた時には躊躇せず集団に加わらない、こういった凡事徹底の取組が大切であると思っております。このような中でありますが、本日の会議におきましても十分な感染対策を講じた上で取り進めてまいります。どうぞお互い忌憚のない意見を交わしながら活発な会議となりますことをお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

矢萩教育長ありがとうございました。

3 報告事項

(1) 社会教育関係各課における協議会・委員の設置状況について

(牛島委員長)

それでは議事に入ります。

報告事項1、社会教育関係各課における協議会・委員の設置状況についてを議題といたします。事務局より説明をお願い致します。

(立花課長)

それでは横長の資料、社会教育関係各課における協議会・委員の状況でございます。資料1、それから先ほど追加した資料1の2という部分で配布させていただいております。今回美幌町図書館協議会委員について、任期満了に伴いまして改めて委嘱が行われております。2年間の任期で7名ということでございます。

こちらは資料1の左側のページの方に概要を記載しておりますけれども、7名の委員が図書館法に基づく図書館の運営に関して、館長の諮問に答える形で、図書館方針についての意見を述べるような形になっております。活動は事業計画の策定や事業等の企画運営に関する助言、それから

サークル活動に対する指導助言のほか、自主的な研修も行うものとなっております。

その他の委員ということで、資料1の2になりますけれども、人事異動に伴う任期途中での委員の交代ということで、資料の配布のみにとどめさせていただきたいと思っております。また、それぞれの委員の名称等につきましては時間の関係で割愛させていただきたいと思っております。詳細についてはそれぞれ資料でご確認いただければと思います。

以上、ご報告いたしましたのでよろしくお願いたします。

(牛島委員長)

ただいま事務局より報告がありましたが、みなさまからご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

<一同了承>

(2) 第7次美幌町社会教育中期計画単年度評価結果(令和3年度分)

(牛島委員長)

それでは次にまいりたいと思っております。

続きまして報告事項2、第7次美幌町社会教育中期計画単年度評価についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

(野村主査)

それでは、第7次美幌町社会教育中期計画の令和3年度分の評価結果につきまして、ご説明を申し上げます。会議の冒頭でご説明しましたとおり、先にお送りしておりました資料2の数値に誤りがございましたので、本日お配りしております資料2をご覧くださいながら、ご説明をさせていただきたいと思っております。

3月の社会教育委員会会議におきまして、みなさまにお願いをいたしました評価作業について、昨年度分につきましては委員13人全員より評価表を提出していただきました。年度末、また年度初めのお忙しい中、評価作業に当たっていただきましたことに

改めてお礼を申し上げます。

今回の評価作業が第7次計画の最後の評価作業となりましたが、推進作業にぶら下がる各グループの方針、取組内容の評価につきましては資料記載の1、資料の1ページから3ページに記載のとおりとなっておりますが、推進目標そのものの評価数値ということで、推進目標1については3.69、2ページ目の推進目標については3.54、そして3ページ目、推進目標3については3.69という結果となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き各課で実施する事業の中止、あるいは規模縮小開催等の影響があったため、各課が判断した評価も令和2年度まではとはいかなくても、評価が低くならざるを得なかったということで、委員の皆様の評価作業につきましても、昨年度、令和2年度と同様難しいところがあったと思っています。中でも推進目標1につきましては、昨年度よりちょっと低い結果となってしまいました。

推進目標2と推進目標3につきましては、昨年度よりわずかに上昇する結果となりましたが、社会教育委員の皆様には事業視察をしていただいたり、この単年度評価をしていただきまして、改善に関する提案等を踏まえながら6年間の取組を進めてまいりまして、7次計画期間中の6年間で一定程度の成果を残すことができたものと考えているところです。

今年度からご存じのとおり第8次中期計画に基づく取組を進めていくこととなります。第7次計画の推進目標とは異なるため、第7次との比較という部分では単純にできないのですが、各課の事業は継続していくものでありますので、第7次計画でいただいた評価の結果を十分に踏まえまして、教育委員会といたしましても令和4年度の事務事業充実に向けて取組を進めてまいりたいと考えております。

この単年度評価につきましては、今年1月の社会教育委員会議でもお話しており

ますが第8次計画でも継続して単年度評価をみなさまにお願いしていく予定でございます。

具体的な評価方法につきましては来年3月の社会教育委員会議において、改めてご説明をさせていただきますので引き続きみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、例年同様皆様からいただいておりますこの評価につきましては、美幌町教育委員会全体で、学校教育や給食センターを含めた教育委員会全体の主な事務事業の点検評価報告書の中で社会教育関係の基礎資料ということで活用をさせていただきます。

6月の教育委員会で報告をした後、外部評価を経て9月の町議会定例会でこの結果が報告されて、その後町民の皆様にも公表されるものとなりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

また、資料の4ページは今年度評価以外に、自由記載ということで皆様からいただいたご意見、それから右側にはその6年間の評価の実績ということでグラフに載せているものがございますので、そちらもあわせてご確認いただきたいと思います。

以上、簡単ですけど説明とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

評価については各委員の皆様が大変苦勞されたと推察申し上げます。このような結果になっておりますが、ご質問等ありましたらいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

<一同了承>

(牛島委員長)

以上で報告事項(2)第7次美幌町社会教育中期計画の単年度評価の結果についてを終わります。

4 協 議 事 項

(1) 令和4年度美幌町教育委員会議の年間計画

(牛島委員長)

次に協議事項に入ります。協議事項(1)美幌町社会教育委員会議の年間計画を議題とします。この件について、事務局から説明願います。

(立花課長)

議案の3ページになります。協議事項の(1)としまして、令和4年度美幌町社会教育委員会議の年間計画、A4の表になっております。順番に4月の第1回目の会議は記載のとおり28日に終わっております。5月の第2回の会議が本日の会議となっております。

第3回を7月に研究調査及び視察を議題として開催予定であります。その後、第4回を11月に、第5回を1月、年度の最後に第6回目を3月に予定しております。

この計画表の中央の右側に各種研修会議等という列がございます。その中で7月に北海道市町村社会教育委員長等研修会が札幌で行われることになっております。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から委員長1人だけで参加いただきたいという要請もあり、複数名での参加も考えましたが、今の段階では委員長に参加をお願いするというで考えております。

それから10月には北見斜網地区社会教育委員等研修会が清里町で開催を予定しております。また、北海道社会教育研究大会留萌大会が残念ながらオンラインでの開催となっております。

また時期が未定ですが、管内社会教育振興セミナーが小清水町での開催予定ということで、開催の期日等が決まりましたら改めて皆様にご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上が計画の説明となります。よろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

はい。具体的に私たちの会議について説明・提案がありました。また研修会等の話もありました。なかなかコロナで難しさもあるんですけれども、チャンスがあればぜひ積極的に研修会等にご参加いただければなと思っております。皆様方からご質問ございませんか。

<質問等なし>

(牛島委員長)

このようなことで進めるということですのでよろしくお願いいたします。

(2) 令和4年度 社会教育関係各課事業計画・年間事業予定

(牛島委員長)

続きまして協議事項2、令和4年度社会教育関係各課事業計画・年間事業予定を議題といたします。なお、質疑等は各課からの説明が全て終了した後、一括してお受けいたしますのでよろしくお願いいたします。

資料の確認はよろしいでしょうか。資料3ですね。皆様確認できましたでしょうか。

それでは社会教育課の事業から説明をお願いいたします。

(立花課長)

それでは資料3、推進目標のそれぞれに合わせた重点事業ということで各課の方からピックアップしてまとめたものとなっております。資料4につきましては各課で実施しているそれぞれの推進目標に基づく細かな事業を掲載しております。

こちらの資料3に基づいてご説明させていただきますが、今年度から第8次社会教育中期計画の初年度ということで、それぞれ重点目標を掲げ、精力的に各課とも事業を進めていくという心意気だと思いますが、改めて初年度ということ意識して頑張っていきたいというふうに思っております。

それでは社会教育課からご説明させてい

いただきます。資料3の1ページ目と資料4の1ページ目から11ページ目に社会教育課の関係が載っております。説明につきましてはさきほど申しましたとおり、資料3で行いたいと思います。

推進目標1の未来と夢を創る人を育てるについてでございます。1つ目の取組という項目の説明ですけれど、親子体験で体験するとなっておりますが、体験が2つ重なっているので最初の体験を削除願います。

1つ目は未来のアーティスト応援事業ということで記載をしております。令和4年度の新規事業ということで、芸術文化活動に取り組む高校生までの子どもたちを対象にした全道、全国規模の大会へのコンクール出場するための経費の一部を補助するという事業でございます。内容につきましては皆様ご承知のスポーツで行っている少年団等への全国大会出場の芸術版ということで理解していただければと思います。

2つ目につきましては高校生リーダー養成講習会になります。高校生を対象に地域活動の大切さや野外活動におけるスキル等を学んでもらい、社会性や主体性を培う事業になります。高校生が町外の同世代の方々と交流することにより刺激を受けるということで、今まで修養団の事業に参加する形でそうした経験を積んでおりましたが、コロナウイルス感染症の関係で今年も中止と聞いております。そこで今年度から、大空町や津別町など近隣自治体の高校生を交えた養成講習会の実施を計画しております。

推進目標の2について、1つ目がイマドキ講座になります。この講座では、社会生活における最新の事象等を取り上げ、町民のみなさまに知識や教養を深めていただくということで実施しております。過去には裁判員制度のことや、奨学金返還の問題などについて学んでおります。今回はこの推進目標に合わせて美幌町の良さや魅力について、再発見・再確認できるような内容ということで現在中身について検討中です。

2つ目は芸術文化鑑賞事業で皆様もご承知かと思いますが、劇団四季のファミリーミュージカルでございます。今年度につきましては、「人間になりたかった猫」の公演を予定しております。芸術文化を高め裾野を広げていく取組の大きな事業ということで、劇団四季を招聘しての実施ということで今年度は10月4日(火)に開催を予定しております。なかなか舞台芸術に触れることの少ない町ですので、こういった機会を捉えて皆様にPRして1人でも多くの方に鑑賞していただければと思っております。それから右側の事業番号を12と書いてありますが11の誤りです。大変申し訳ございません。重ねて訂正をお願いします。

次に推進目標3について3点ほど社会教育課からでございます。1つ目は美幌町女性国内研修への派遣でございます。今まで埼玉県の方へ派遣をして研修を受けておりましたが、コロナの関係からオンライン開催ということで今年度もオンラインということで大変残念な状況になっております。しかしながらその内容につきましては非常に素晴らしい内容のものが研修の中に組み入れられております。今年度はオンラインということもありますので、参加される今までのメンバーの方を含めて一般町民や男女共同参画に関係する団体等にも周知してオンライン配信を見ていただくようにしたいと考えております。

2つ目は多文化共生推進事業になります。ご承知のとおり町長の重点施策ということで令和2年度から実施している事業でございます。現在町内で外国人技能実習生を受け入れている事業所が4か所ほどあり、今後事業者の声掛けをして実施していきたいと考えております。日本文化の体験をとおして、美幌町や日本についての理解を深めていただくということを考えております。体験の内容については、生け花、茶道、着付、和太鼓演奏、日本舞踊、絵手紙、書道など実習生の方が興味を持っているものをお聞きしながら実施できればと考えており

ます。

3つ目が青少年、青年関係団体の活動援助ということでB-liveとFjoy、2つの団体への活動を支援していきたいと考えております。B-liveについては結成から10年以上経過しており、この間様々な活動をしてきております。今年度もコロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら水鉄砲大会を実施するという、それから5年ぶりに仮装しながら交流するハロウィンパーティーを開催するという事をお聞きしております。

またFjoyについては、8月6日に昨年も実施したお化け屋敷を実施するという事で、活力共創事業補助金の採択を受けながら進めているところです。

以上、社会教育の重点事項となりますが、先ほど申しましたその他の資料、その他の事業は資料4に記載されております。そういった事業もあわせて推進しながら、こちらの3つの推進目標の達成につなげていければと考えております。よろしく申し上げます。

(牛島委員長)

ありがとうございます。続きましてスポーツ振興課所管事項について説明をお願いします。

(浅野課長)

それでは資料3の2ページをご覧ください。スポーツ振興課関係分の説明をさせていただきます。推進目標1ですが取組が3項目ありまして、多くのスポーツに触れる機会をつくりスポーツ好きになる子どもの育成ということで、こちらについては総合型地域スポーツクラブBeet自立支援ということで、もう12年経過しましてだいぶ地域に定着してきております。こちらは茂手木委員長さんが理事長ということで代表でございます。スポーツクラブについては様々な事業を展開していただきまして、その自立支援ということで取組を支援しております。資料4の17ページに詳しい事業を掲載しておりますので後ほどご覧いただければと思

います。続いて各種スポーツにおける指導者の発掘、育成とスキルアップ支援ということで、スポーツ指導者資格の取得補助事業ということで平成29年からこの制度を作りまして取り組んでおりますが、コロナの影響もありまして、講習会が開催されなかったり参加しにくかったりというのがありましたが、現在のスポーツ少年団の指導者制度が変わりまして、今の少年団独自の認定員という資格が日本スポーツ協会、大本の団体からスタートコーチという資格に移行しなさいと言われております。それで資格を持った指導者が2名以上いなければならないというのが制度として大きくありまして、美幌町で指導者として登録している方が100名ちょっといるんですが、その大半が60歳以上の方が半数、半分の方は資格を持っていないで登録しているということがあり、今後のスポーツ少年団の活動を維持するためにもスタートコーチに移行してもらう方と、若い人に資格と取っていただきたいということで、今回資格取得事業を拡充いたしました。3年計画で今登録している指導者は皆さんスタートコーチを取っていただけるように助成していきたいと考えております。また、若い方々に少年団活動を継続していただけるような取組を今後も強化していきたいと考えております。

次にトップアスリートを目指す子どもたちの育成ということで、こちらについても未来のアスリート応援事業ということで、育成強化選手の奨励金または全国全道大会の選手派遣について手厚く支援をして取り組んでいきたいと思っております。

続いて推進目標の2でございますが、取組2項目ありまして、町民のスポーツにおける活動状況や活躍、指導者の情報を広く発信するという事で具体的には情報提供の充実ということでこれまで同様、様々な媒体を活用しながら少年団ですとかスポーツ協会、様々な事業の取組について情報発信、または活動をPRしていきたいと考えております。

続いて美幌町のアスリートを町民が一体となって応援する取組ということで、ビホロ100kmデュアスロン大会、本日要綱をお配りしましたが昨年はオンラインのみということで全国から204名のエントリーをいただきましたが美幌大会、本大会については3年ぶりということで8月21日に開催をする予定ですが、300名を超える参加者、それからスタッフも300名を超えて協力をいただいで開催しておりますのでコロナ禍の中ではありますが、協力をいただきながら選手のみなさん、地域のボランティアスタッフで協力しながら大会を成功していきたいと考えております。

続いて推進目標3、3項目ありますが、スポーツを通じて様々な環境にある人たちが交流しつながり合える取組ということで、スポーツ協会の活動奨励ということでこちらについては伊藤委員さんが会長ということでスポーツ協会につきましても昨年70周年ということで歴史ある協会であります、今年サイクリング協会と前回説明しました相撲協会が新たに登録しました。だんだん人口が減って競技団体も少し衰退している傾向にはありますが、新たな団体を入れて活動を活発にさせていただいております。

今年のスポーツ講演会については水泳競技の先生をお呼びして講演会及び実技指導を予定しております。

続いて町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進ということで、レベルアップトレーニング教師ですが、これはトレーニンググループを使用しながら専門的レベルの高い講師をお呼びして、より専門性の高い教室を実施していきたいというふうに考えております。続いて指導者や活動を支える支援者が多様性について学び育成する体制の整備ということで、こちらについては指導者の意識向上と、講習会として開催をする予定ですがここ2年ほどコロナの影響で開催できておりませんが、時代に合った専門的な講師をお呼びして、講習会を開催していきたいと考えております。以上簡単で

ありますが、スポーツ振興課の事業内容についての説明を終わります。

(牛島委員長)

ありがとうございました。続きまして博物館所管事業について説明をお願いいたします。

(鬼丸課長)

博物館分について説明を申し上げます。議案書の3ページからになります。まず推進目標1についてであります、美幌町の自然、歴史、芸術に触れる機会を増やすための事業実施につきましては自然、歴史、美術をテーマとした野外観察会や室内実習会、講演会などを通年で行います博物館講座を実施するとともに、みどりの村森林公園を活用して親子で自然・歴史体験ができるような体験学習を季節に応じて行う予定であります。

その次の取組、SDGsに関わる学習プログラムの提案につきましては学校授業支援するために学芸員が自然、歴史、美術、それぞれの専門分野を生かして、SDGsに関わる体験学習プログラムを提供したいというふうに考えております。

次に推進目標2についてですが、美幌町の自然、歴史、芸術に関わる資料を収集、美幌の魅力に関する学習機会の充実、SNSや印刷物などを使った情報発信の充実につきましては博物館活動の基本スタイルであります調査研究で得られた成果を様々な教育活動や情報発信につなげる、という活動を通して目標の実現化を図ります。そのために学芸員がそれぞれの専門に応じた調査研究活動を進め、情報や資料を収集することに努めます。その成果は特別展などの展示会や工作体験であるプチ工房やその他イベントに生かした運営を行います。収集した情報は多くの方々に興味をもっていただけるように博物館ホームページ、メールマガジン、町広報紙、博物館情報更新につきましては月1回、フェイスブックにつきましては週1回のペースで

定期的に情報更新をしながら広く紹介していく予定としております。

4ページになります。最後の推進目標3についてですが、異世代が交流し、多様な文化を学ぶにつつましては博物館で企画しております展示会は基本子どもから大人まで楽しめる内容にしておりますので、博物館で開催しました展示会内容を移動展という形にして町内、色々な施設で開催することで広い世代の方々が展示を通じてふるさと文化を学べる機会を増やしていきたいというふうに考えております。

また、明和大学ふるさとクラブの事業支援を行ない、専門性を持つ学芸員と学生とがお互いに情報や経験談を交流することで学生らが多様な文化を学べるきっかけとなることを目指しております。

最後の取組、個々の学びを様々な施設で支援につつましては、博物館の調査研究活動や展示活動、各種講座運営に関して興味や経験、それから技術等を持たれた方に自由に活動や参加してもらうことで自分と違う色々な立場の方々と交流が生まれ、個人の興味や関心・能力を高めてもらうことを支援していく予定でおります。以上、簡単ではありますがよろしく願いいたします。

(牛島委員長)

ありがとうございました。最後に図書館課所管事項について説明お願いいたします。

(竹花館長)

図書館について説明したいと思います。5ページになります。まず推進目標1ですが、取組が3つあります。1つ目のいつでも誰でも本とふれあえる環境づくり、3つの取組の中で今年はこれを重点的に取り組んでいきたいと思っております。事業としましては子ども未来絵本036事業を継続して行います。0歳、3歳、6歳時に絵本をプレゼントして、その時に読み聞かせをするということで乳幼児から読書、絵本に親しんでいただきながら保護者にも啓蒙活動していきたいと

思っております。

次の国際化のニーズに合わせた情報の提供と異文化交流のかけ橋となる場の提供については英語とあそぼという事業に取り組んでいます。今年で5年目となり、ALTの協力を得まして英語での簡単な読み聞かせやゲームを行います。対象は幼稚園児から小学2年生までにしていきます。実際小学校では3年生からすでに外国語活動ということで英語に親しんでいきますので、その前段階ということで子どもたちに興味関心を持たせる事業にしていきたいと思っております。

推進目標2です。まず誰でも見やすく探しやすい郷土資料の整備ということで郷土資料の取組については図書館の使命のひとつでありますのでさらに充実していきたいと思っております。2つ目の美幌町に関する情報の積極的な収集と発信ということで、これを推進目標2の重点事項にしたいと思っております。ホームページやSNSを使った情報発信をこれからどんどん進めていきたいと思っております。色々なデータ、今年からすぐにはできないと思っておりますがデジタル化して提供していきたいと考えております。3つ目の町民が情報を生かす場の提供ということで、「まち・ひと・ほん」のコーナーという事業を行っています。色々な関係機関と相談しながら1つテーマを持ちまして、そのテーマに合った展示をし、それに合った図書を紹介するもので、現在はゴミについてをテーマにギャラリーで展示を行っておりますので、是非よろしく申し上げます。

推進目標3です。1つ目の取組で町民の活動の場及び交流の場の提供ということで新規事業になります。実は図書館が今年で70周年を迎えます。昭和27年5月に今の図書館の前に木造の建物でスタートしました。70周年という節目の年ですので、できるだけこれを機会に多くの方に図書館に来ていただいて本に親しんでいただきたいということで大きく3つの事業を計画しています。ひとつは図書館公式キャラクターの設定です。プロの絵本作家に依頼しまして

3つのキャラクターを作っていただきました。アメマスとコウモリ、モモンガ。この3つの中で図書館を利用いただいている子どもたちから大人まで含めて投票いただきまして一番人気のモモンガに決定することになりました。そのモモンガの名前を7月に公募します。採用された方に対して9月に図書館フェスティバルがありますが、70周年記念のフェスティバルと銘打ってそこで表彰したいと思っています。副賞として1万円程の図書カードを用意しております。皆さんどうぞよろしく願いいたします。

それからもうひとつは、フェスティバルを今まで以上に盛り上げたいということでピアノを弾いてる方をお呼びして演奏会を行ったり、ゲームコーナーをやったりと例年以上に盛り上げたフェスティバルにしたいと思っています。3つ目として有名作家を呼んで講演をする予定です。桜木紫乃さん、直木賞作家で北海道出身、ホテルローヤルが非常に人気あります。かつて網走にも住んでいたことがあり、現在は江別に住んでいるんですが、その方と講演の話がついておりますが忙しい方なので日程が決まっています。今年度中に開催したいと思えます。この3つを基盤とした70周年記念事業として行いたいと思えます。2つ目の取組として様々な世代の学びの場の提供ということで、大人のための朗読会は毎年行ってきたのですが、ここ2年間コロナのために中止せざるを得ませんでした。何とか今年は行いたいなと思っています。実は子ども向けの絵本の読み聞かせは毎週木曜日にやっているんですが、大人向けとかシニア向けのものがなかなかできていけませんので今年は何としてもやりたいなと思っています。最後ですが多様な人が安心して利用できる空間の提供ということで、できるだけ図書館を開放していきたいなと思っています。もう少しアピールしながら図書館の施設をどんどん皆さんに使っていただけるような取組をこれから進めてまいりたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。以

上です。

(牛島委員長)

ありがとうございました。第8次中期計画のスタートにあたって各課の様々な、何かわくわくするような事業が提案されておりますが委員の皆様からご質問がありましたらお願いします。

それから、それぞれの専門の自分の守備範囲もごございますので思い等も語っていただければと思います。いかがでしょうか。

(茂手木委員)

社会教育課の芸術文化、劇団四季ということで、美幌町に劇団四季が来るということで素晴らしいことだと思うのですが、人によっては劇団四季が来るよと言ったら「すごいね、いくら位かかるだろうね」と具体的にギャラのお話があると思う。具体的にどのくらいかかるのでしょうか。言える範囲で構わないので。

(山本主査)

公演料としましては劇団四季にお支払させていただく公演料は全て込みとなっています。来られる方の旅費や舞台セットが大掛かりなものですので、そういったところに、キャストへの謝礼とか全部含めておおまかに300万円位。それに消費税とかそういう形の金額になろうかと思えます。

これにプラス地元経費としまして、広報の関係やお迎えする際の簡単なケータリング、セット組立のために現地のアルバイトを雇わなければいけないというところもあり、そのアルバイト料等を含めた金額になりますので、今申し上げた金額プラスアルファというところでご承知おきいただければと思います。

(牛島委員長)

茂手木さんがおっしゃったとおり、劇団四季が来る町美幌をアピールしていきたいなと思っています。文化連盟もそのように考え

てやっているところでございます。チャンスがあれば来ていただくということで考えております。

他にはどうでしょうか。

(宮崎委員)

項目にはないんですけど、色々なところに多様性って全部に載ってくるのが今年特徴だなと思うんですけど、外国人の方とか文化の違いとかあるんですが、私が福祉の仕事をしているのでちょっと偏っているかもしれないけど、何か今、やっぱりそういう発達の色々な人数の違いもあって、昔はそういう方がクラスに1割とか言われてましたが、今はだいたい30名いたら7名位いると言われているので、それぞれの本当に見え方とか聞こえないとか、色々ちょっとした工夫では全然変わらないんですけど、何かそういうのが出て困っているお子さんがたくさんいると思うので、ぜひそういう人たちもちょっとした配慮や指示とか見せ方だけで全て変わってくると思うのでご配慮いただければなと思いました。このへんは下山さんが専門だと思うのですが。

(下山委員)

おっしゃるとおりだと思います。

(寺田委員)

私自身は社会教育活動奨励員の立場で、その中でこの新しい推進目標に対してこれからどのような活動をしたいたら良いかを考えていく立場にあります。野村主査がおっしゃっていましたが、初年度なので私たち社会教育委員の中では割と熱があるというか一生懸命考えてきているせいもあって、こういうようにしたいというようなイメージがあるのですが、やっぱり町民のみなさんの意識の中にはまだない部分があるかもしれないですね。それを町民へ周知しながら一緒にみんなで町の中で盛り上げていって、今年から未来と夢を創る人を育てるとか、ふるさとの魅力を受信発信、多様性を尊重した学びというような

短いキーワードなので、何かの形で伝えられるようにそれぞれの立場でやっていけたらと思います。例えば広報の中で特集にして美幌町はこういうことに着手している、それをみんなで意識を共有するというところから、普段こんなことを思っているけどどこに言ったらわからない言葉が伝わってきたり、色々な議論をするきっかけになったりすることもあると思いますので、何かしら意識しながら行政側とそれぞれの立場の中でアクションを取り、目立った冊子みたいなものでも良いと思うんですが、町からアピールすることも一緒にやっていければと個人的にも思うし、皆様にもお願いしたいなと思います。

(牛島委員長)

ありがとうございました。他いかがですか。

(西谷内委員)

社会教育課の未来のアーティスト応援事業とか、スポーツ振興の未来のアスリート応援事業がありますけど、私の娘が来年お琴の演奏で全国大会に行くことになったんですけど、こういった出場の経費の補助というのはどのように周知しているか。習い事とかでもこの枠に入るか、補助の対象になるのかとか、個人で申請するものなのか、先生が申請するものなのか。

(山本主査)

新規事業として出ささせていただいております未来のアーティスト応援事業ですが、スポーツの方では基本的に団体から提出いただくことが多いと思っております。未来のアーティスト応援事業も基本的には習い事であっても所属されている団体様から申請を上げていただいた方が良いと思っております。ですので、例えばお琴であればお琴の団体から申請いただき、補助をつけさせていただくというルートになるかと思っております。

周知ですが大変申し訳ございません。今チラシやホームページを作ったりという

形でやらせていただいております。広報には一度出しましたが、この他の周知の部分での周知につきましてもこれからホームページやSNSにも載せさせていただきますので、各小中学校へもチラシを配布させていただきますたいと思ひまして、現在準備をさせていただきますたいと思っています。初めての事業でございますので広く周知させていただきますたいと思ひまして、ご活用いただけたらと思ひますのでよろしくお願ひいたします。補助事業の対象になるかどうかということにつきましては、その要綱等に記載させていただきますたい部分がありますので、100%大丈夫ですよというふうには言えないところもございしますが、ご相談いただいた中で出せる部分につきましては補助させていただきますたいというように思ひますので積極的にできるように準備させていただきますたいというふうには思ひますのでよろしくお願ひいたします。

(野村主査)

先ほど寺田委員からお話あった部分ですが、現在8次中期計画をホームページに掲載していますが、全編となるとボリュームもボリュームなので、なかなか全部まで目が届かないと思ひます。この中身を抜粋するとか、肝となる部分だけをダイジェスト版ということでA3両面2枚位にまとめたものを作りホームページに上げています。PRということで、これまでもそういった必要な人に必要な情報が届いていないのではないかと、そのような情報提供の充実のひとつでもありますし、まさに今、寺田さんがおっしゃった部分でこの中期計画を発信していくということが大事かなというふうには思ひますので、ダイジェスト版の活用ですとか、教育委員会の公式ユーチューブチャンネルで啓発していくとかできるものについては実施していけるようにしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

(牛島委員長)

ありがとうございます。私からひとつ、守備範囲を超えています、先ほど西谷内

委員からお話のあった部分ですけど、ここにざっくり全道、全国のコンクールと書いてあるんですが、子どもたちが学校で何かを頑張っている従来の吹奏楽コンクールとかアンサンブルコンテスト等についてはこれからは学校教育の中で学校の教育の一環という関係の守備範囲で見ただけと思ひてお願ひします。

このアーティスト事業は先ほどお話のあったように個人で頑張っている子どもたちを応援する事業になってお願ひします。例えばお琴もあり、ピアノとか、吹奏楽で言えば管楽器の個人のコンクールで出て話題になっています。今までは全部個人負担だったんですが、その分について補助をいただけるという今年からの事業になってお願ひしますのでご承知いただければと思ひます。要綱等についても文化連盟の方では総会時に配布されて山本主査からご説明があったところですので、必要であればおっしゃっていただければお渡しできると思ひます。

他いかがでしょうか。令和4年度第8次中期計画のスタートの年になりますのでこの後事業視察が話題になると思ひますが、今日はボリュームの関係でできませんけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは協議事項2、令和4年度社会教育関係課の事業計画、年間事業予定を終わります。

(3)美幌町図書館整備基本構想

(牛島委員長)

次に協議事項3、美幌町図書館整備基本構想についてを議題にします。事務局よりご説明をお願ひします。

(竹花館長)

美幌町図書館整備基本構想が策定できましたので皆様に報告いたします。すでに教育委員会の承認いただきまして、議会でも報告しているものです

最初のページをご覧ください。表紙にな

ります。最初に誰でもいつでも集える魅力的な図書館と書いてあり、これが基本理念になります。この基本理念をもとに3つの方針を立てました。町民の触れ合いを深める図書館、町民の力を生かす図書館、町民の学びを刺激する図書館という3つの方針、図書館像を設定しました。これからそれぞれについて詳しく説明したいと思います。

まず先に22ページをご覧ください。この策定にあたりまして、整備検討委員会というのを立ち上げて、昨年度5回会議を開催し1回目は6月24日です。1回は先進地視察を含めて5回の会議を持ちました。の会議をもとに、21ページに記載の12名の委員の皆様、それから帯広大谷短期大学副学長の吉田真弓教授をアドバイザーに迎え、さらに教育長、教育部長、図書館職員がまとまって作成されたものです。

戻りますが、表紙をめくっていただくと目次があります。1章から7章で成り立っています。最初は1章、美幌町図書館と社会の動向ということで主になぜ図書館を新しく建てるかについて書かれています。

端的に言います。はっきり言いますと1つ目は老朽化のためです。今の建物が今年で45年になります。先ほど70周年という話をしていますが今の図書館の前に木造のものが昭和27年に建ちました。今の図書館は昭和52年3月に建ちました。今年で45年目を迎えます。色々と老朽化が進んでいます。

2つ目は高齢者とか障がい者に対する十分な配慮ができた施設ではないということです。時代の変化とともにそういう配慮が十分でないということです。

3つ目としましては町民のニーズ、それから時代のニーズです。例えば北見であればカフェがあったり、色々な施設が1つになった図書館だったりとか新しいニーズがたくさん出てきましたので、それに追いついていない。この3つの視点で新しい図書館を考えていくことを書かせていただきました。

3ページになります。2章現状です。この平面図は現在の図書館の平面図です。上から見ますと正方形なんですけど、入口がななめになっており、一部吹き抜けで当時としては非常にモダンで素敵な図書館ということで当時は視察に来られた方もたくさんいたということが新聞にも載っておりました。非常に良い図書館なんですけれども、先ほど言いましたように老朽化が進んでいるということです。

4ページ、5ページに統計的なデータを示しました。1つは蔵書数です。現在図書館では約15万冊、ここ5年間ほとんど15万冊で推移していますが、スタート時点の蔵書数は5万冊だったのですが、15万冊に膨れあがっています。それから貸出数と来館者数は同じ傾向を示していますが、平成28年から30年にかけて若干減ってきました。人口の減少、あるいは活字離れではないかと思います。その後令和元年から2年にぐっと下がっているのはコロナのためです。そのために閉館した日もかなりありますし、色々な事業行事も中止にしましたので、当然減ったと。今年はいよいよ盛り返してきていますけど、そういう傾向です。

6ページになります。先ほどお話しした老朽化ということで何が問題かというところをまとめたものですが、1つは施設面の老朽化、もう1つは障がい者、高齢者の方のバリアフリーの問題。例えば電気暖房やトイレにちょっと不都合があるとか、壁のひび割れや色あせとか、それから実はメインの書架という本の置いてあるところに冷房がないので、夏30度を超えとかそういうようなことです。それからバリアフリーのことで言えば、2階に色々な施設があるのですがエレベーターがないので、車いすや体の不自由な方が非常に不便になっています。

それから、皆さん来ていただいてわかるかと思いますが、本棚の高さが今は180cmあるのですが、今の新しい図書館がほとんど140cmとか低くなっていて、顔が見えて広くなって、ゆとりある空間を作っている

のですが死角がいっぱいできていまして、しかも本棚と本棚の間が狭いものですから、車椅子とかベビーカーの利用でも不便な状態です。かつてはそれが当たり前だったのですが、そういう状態です。それからB、C、Dについてはニーズです。例えば個別の学習スペースが欲しいとか色々な会議室スペースが欲しいとか、あるいはインターネットの設備が充実して欲しいとか、一部ですが開館時間を延長してほしいなどサービスのニーズなども課題として書かせていただきました。

8ページになりますが、同じ課題でも令和2年度に町民に向けて図書館建設に向けたアンケートを実施しました。約2万人の町民の中から1,000人をアトランダムに選んで郵送でのアンケートに答えていただいたものと、同じ年に子どもの読書推進計画というものを別に作っているんですが、そのためのアンケートを小学4年生から中学校3年生まで全員に取りまして、その中に新しい図書館についての項目を加えその結果の中で特に顕著なもの、多かったものをまとめたものです。例えば立地条件で言えば、町の中に図書館、あるいは歩いていける図書館ということで、当然平日は高齢者の方が多く、また歩いてくる方がいますので、そういうことだと思えます。それから建物で言うとこれは意外だったのですが、子どもたちの中では高齢者や障がい者にやさしい施設が良いというニーズがたくさんありました。先ほど宮崎さんが言われていることも含んでいると思いますが、同じような意見もありました。それから一番多かった意見が広い駐車場です。今は20台ちょっとしか駐車できず、イベントや事業だとすぐに満車になるため町民会館の駐車場を借りたりすることがよくあります。それから気軽に集まったり、ワークショップなどができたりする図書館がいいんじゃないかという意見もありました。

それからサービスとしては、先ほど言ったインターネットやコンピューターを自由に使

いたい、開館時間の延長とか、それからこれも意外と多かったのですが、借りた本が通帳のように残るシステム、貸出履歴の残るシステムあっていいとの意見もありました。この他、カフェがあったりとか飲食ができるスペースがあったりというような意見がありました。こうしたこと基にしながら、委員の中で考えたことが次の9ページになります。

基本理念は「誰もが、いつでも、集える、魅力的な図書館」ということになりました。「誰もが」というのは、子どもから高齢者まで障がいを持っていても、誰もがいつでも行きたくなるような居心地の良い場所としての図書館を目指していきます。それから「集える」というのは、多様な人や世代を超えた交流をとおして自分の未来を切り拓くことができる集える図書館を町民の皆様とともに作っていきたく。「魅力的な」というのは、こんな図書館であってほしいという人々の思いを常にキャッチして、ドキドキとワクワクのある魅力的な図書館にしていきたい。実は、町民アンケートの中で一番多かったのは衝撃だったのですが町民の6割以上、7割近くの人が普段図書館を使っていないという話になって、その中から委員の話が盛り上がりまして、やはり行きたくなるような、楽しい、ワクワクするような魅力的な図書館ということが先に話題になりまして、「魅力的な図書館」という言葉に落ち着いた経緯があります。この基本理念を踏まえまして、先にお話しましたが基本方針「町民の触れ合いを深める図書館」「町民の力を生かす図書館」「町民の学びを刺激する図書館」という目指す図書館像を設定させていただきました。10ページはこれらの基本方針をもう少し具体的にどんなものをまとめたものが表となっています。例えば基本方針の1であれば、子どもから高齢者までのコミュニティの場というようにしました。色々な話の中で一番のキーワードは、この「コミュニティ」が最も話題になりました。9ページに戻りますが、コミュニティと言う言葉にも色々な意味や定義がありますけれども、私たち

が最終的に定義したのは一番上に書いてありますが「人が集まって成り立つ場所」でまずある、そして「コミュニケーションによって社会的な相互作用が生まれる場」としてのコミュニティの場、これを図書館としての機能に持たせたいということが中心になって話し合われました。

10ページに戻りますけれども、それぞれの基本方針について、皆様から出た意見を取りまとめたものです。基本方針2は、いつでも誰でも本に触れる空間を作っていく。基本方針3では未来を指向した進化する図書館と書いてありますが、今のニーズは10年経つとまた変わるかもしれない。かつて50年前のニーズと今のニーズは全く違いますから、そのニーズが変わったとしても進化して未来を指向しながら、いい意味で変わっていく図書館ということを意識しているということをここに含めています。

11ページ以降、13ページまでそのことからさらに色々な意見が出ましたので、意見が出た中から該当するものを当てはめたものになります。後ほど時間があれば見ていただきたいと思います。もっと具体的に、このようなことはどうなのかということが書いてあります。

14ページになります。実際どのように建てるかという場所はまだ決まっていませんし、これからなのですが、少なくとも整備の方針の中に町の中心が当然いいだろうと。そして広い駐車場、40台以上のスペースがあるところを何とかしたいと。緑が確保できる場所にしたいということが1つの方針として示しました。規模としては今の図書館よりちょっと大きめになると思います。それからニーズの中で複合化という言葉を使ったのですが、実際色々な施設が一緒になった図書館、例えばスーパーと一緒にいるとか、道の駅と一緒にいるとか、場合によってはホテルと一緒にいる図書館があるなど、そういう意味で人を集める、コミュニティの場所という意味からすると複合化というのも1つのメリットかとも思

っていますが、実際どういう施設がいるかということが、我々から出せませんでしたので現在検討しているところであります。

15ページです。蔵書数のことに触れています。最初は今の図書館にしたときは5万冊なので15万冊になったという話をしましたけれど、もう満杯で溢れています。それはもっと広い図書館になるのももちろん本が多いのは良いのですが、管理ができれば意味がないので、これを10万冊くらいに落とそうと計画しています。なぜ10万冊かと言いますと一応基準がありまして、人口に対してどれくらいの蔵書数が良いかという計算式がありまして、それを計算するとだいたい10万冊。実際美幌町は本がすごく多い。良い意味で多かったということで、残念ですが10万冊に減らしていきたいなと思います。先ほど言いましたように本棚が高いので、これを低くすると同じスペースでも置ける本が減ります。ですから、本棚の高さを2/3にすると必然的に本も2/3になるということでだいたい同じような数字になると考えています。

16ページには、これは構想ですので実際に全てできるか分かりませんが、一応こんなものがあつたら良いなというものを洗い出したものです。今までに内部の施設、あるいはあるものも含めてこんな設備、スペースがあつたらいいなということで書きました。例えば真ん中、14番にミニシアターと書いています。本当に小さなシアター、映画館みたいな、あるいは小さな演劇ができるような、そういうスペースがあれば良いのではないかというご意見をいただきましたので、一応構想として書いております。1から32までありますけど、それについてどのようなものかということを中心に皆さんの意見を聞きながらまとめたものが17ページから19ページになっています。色々な意見をいただいています。

先ほどお話した吉田先生にもアドバイスをいただいてかなり修正したりしています。例えば19ページ、27番の授乳室ですが

はじめは女子トイレの横に作ろうと書いたのですが、性の問題など色々問題になっていますし、必ずしも女性だけが該当するかということもあって、授乳室というのは男性女性関係なく利用できなければいけないというような指摘を受けたりして修正するなど進めてきました。

最後になります。23ページになります。今後についてですが、基本構想は理想的な面、大きな目標なので、これをさらに具体的にしなければなりません。それで、本年度は同じ整備検討委員会のメンバーで基本構想を踏まえた基本計画を策定する予定です。今年もここに書いてあるとおり5回の会議を予定しており、すでに1回目は昨日終わったのですが、何とか5回やって基本構想をもとにした基本計画を立てていきたい。より具体的に、例えば規模の問題だとか、広さとか、実際色々な理念に対して実現するためにはどうしたらよいかということを含めていきたいと思っています。

大変雑駁ですが以上で、よろしく願いいたします。

(牛島委員長)

ありがとうございました。図書館整備基本構想について説明がありました。どこからでもよろしいですのでご質問、またはご意見、思い等がございましたら出していただければと思います。

(下山委員)

13ページの開館時間ですが、こちらにもあると思うのですが、開館時間の延長と言うか、仕事が終わって18時、カフェとかそういうものがあるのであれば、ちょっと仕事終わりに寄って調べものみたいなことができらうれしいと思うのですが、このへんは長くなったりという可能性はあるのですか。

(竹花館長)

これは整備検討委員会の中でも話題になっていまして、北見は20時まで開いてお

りますし、東川の図書館は21時までやっていたり、年中無休とか、そういうところもありたりします。やっぱり社会人の仕事終わってから、(本町の図書館も)18時まで開館する日が水曜日、木曜日とあるのですが、それでも足りないという意見を多くいただいているので、何とか延ばす方向で考えていきたいのですが、今いる人員でできるかどうかということも検討しながら進めていきたいと思います。ただ、大きな話題になっていますので検討はしていきます。

(牛島委員長)

ありがとうございます。宮崎委員いかがですか、お膝元だから。

(宮崎委員)

館長が言われたとおりですけど、たくさん視察も一緒に行かせていただき、様変わりしてますし、図書館という概念を変えなくちゃいけないなど本当に思ったので、皆さんからご意見をもらっていい図書館に絶対したいなど、(この構想を)館長が作ってくださいだったので、是非ご協力ください。「こんな図書館あった」など、是非逐一館長に報告をいただければと思っていますのでよろしく願います。

(西谷内委員)

要望なんです。学校って運動会や学芸会等があると月曜日が振替休日になるじゃないですか。どうしても月曜日だと博物館や図書館も、美幌町にはないけど科学館なども休館になると思うのですが、そこを町の小学生とか子どもたちが休みの日、でも月曜日、保護者は仕事というスタイルが多いと思うので、そういった時に特別に開放をして、何かイベントとか子どもたち向けに楽しませてもらえるようなものを美幌町にしていいただければと思います。

(竹花館長)

要望としてお受けしたいと思っています。現在週休2日制ですけど、図書館が6日間空

いているので、週休1日でローテーションを組むものですから、色々と考えなければいけないですけどもそういう要望があるということをお話し合ってみたいと思います。どうやったらそれができるかというところで。

(牛島委員長)

喫茶店やお菓子屋さんみたいに水曜休みとか、月曜日が休みじゃなきゃいけないということはないと思う。勝手なことを言って申し訳ない。行きたい時に開いているというのはやっぱり重要な要素かもしれませんね。他いかがですか、寺田さん何かありませんか。

(寺田委員)

個人的にはせせらぎ公園のあたりだったら自然も豊かだと思うのですが、交通の便がですね、車が入りやすい場所でなければいけないということもあるので難しいとは思いますが、本当に自然の中で図書館の本を汚しちゃいけないし駄目にもできないけど、自然の中で外でも本を読めてくつろげる場所があればいいなと思います。あと、知っている方もいると思うのですが千歳の民間で作った図書館を視察に行ったことがあるんですけど、町民の人たちがみんなで作っているんですよね。図書館の本というより本をみんなで持ち寄ったりしてできた図書館なんですけど、そういう所だと民間の人たちがお手伝いしてみんなで協力してやっているところ、そういうことが町の図書館でできるかわからないですが、そういった町民参加型で、自分たちでおもしろいと思ったので、ほこらみたいなものを持ってきてそこに飾って、お賽銭を投げ入れて、そのお金を館の何かに使ったりということを考えていました。飾り物も自分たちで作って、スペースの中で立体的な図書館、博物館にあるようなディスプレイみたいな立派なものじゃないけど手作りの飾り物を置いたり。すごく手作り感のある図書館が千歳にあって、これ面白いなと思いましたけども、時代が変わってきているので、素晴らしい

図書館になることを期待していますので、よろしく願いいたします。

(牛島委員長)

私からもいいですか。置戸町で研修会があつて行った際に、たまたま新図書館が開館した年だったので視察させていただいたのですが、土地があるのでワンフロアで縦長の、木造で木をふんだんに使った図書館で、入口に喫茶コーナーがあつて、担当の方がここは図書館という概念からすると叱られるかもしれませんが、町民の方に来ていただいて集まってもらいたい。ここに書かれているコミュニティですよ。美幌でコミュニティがどこにあるかと考えた時にしゃきっとプラザの2階、子どもたちが勉強しているスペースがあつたり、町民会館も事務室の前に子どもたちがちょっと遊べる場所があつたり、駅にもありますよね。そういう面でコミュニティ、図書館もそういうコミュニティの広がりができるのかなと思っていました。雄武町もちょうど研修会に行った時に、寒い中担当の方に連れて行ってもらったのですが、町民が色々なものを持ち寄ってきて喫茶コーナーだったり、何か食べるものを出したりしているところがあつたりして、これも面白いなと思って。やっぱり町民の皆さんが集まって欲しいという願いが、そこに思いがあるのかなと思って見せてもらいました。あとは学習スペースとかは今後検討いただけるとのことなのですが、網走市の図書館にも2階に結構子どもたちが勉強したり音楽を聞いたりできる場所もあるのを思い出していたのですが、先進地のいいとこ取りではないですが、今年も視察に行かれてこれいいよね、美幌版として生かせないかなというような検討を是非していただければと思います。そのような思いで新しい図書館を楽しみにしております。

この件よろしいでしょうか。また思い等ありましたら、ざっくばらんに寄せていただきまして、これからの構想の仲間に入れてもらうというような考え方でできればいいなと思っていますので、この後またご苦労をお

かけしますがよろしくお願いいいたします。ありがとうございました。

以上でこの件を終らせていただきたいと思います。

(4) 令和4年度 美幌町社会教育委員の研究調査

(牛島委員長)

次に、協議事項(4) 令和4年度の研究調査についてを議題といたします。事務局より説明お願いいいたします。

(山本主査)

私の方から説明をさせていただきますが、特に資料等ございませんので、口頭でお話をさせていただきますがご了承ください。

今年度の美幌町社会教育委員の調査研究でございますが、昨年度まで第8次社会教育中期計画の関係で進んでまいりました。中期計画が完成いたしましたので、これからはまた別のテーマを持って、研究調査を行っていく形になります。ただこの場で何かを決定することには至りませんので、次回7月に開催予定でございます社会教育委員会議の時に改めてご提案、ご協議をいただく形になるかと思っております。

ただし、今任期ですが来年の5月までの1年間になっておりますので、長期にわたっての研究になるか、それとも1年で完結させるような研究になるかということについてもご協議をいただければいけないところですが、中期計画が始まって1年目ということもございますので、そういったところも踏まえた調査研究がよろしいのではないかとということで事務局では考えている次第ではあります。またご協議いただければと思っております。協議に際しましてはこちら側からも案を持って出していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

また、研究調査等とは別に事業視察でございますが、そちらについても別途ご提案したいと思っております。

一番最初のスタートは研究調査の一環と

して事業視察に取り組んでいただいた経過がございましたが、その後事業視察について年数を重ねた中で、だいぶ定着した取組となっていると思っておりますし、この取組については継続したいという委員からのご要望も多いため、こちらにつきましても別に提案させていただきたいと思っております。

ただし、中期計画がこちらでも変わったところもありますので、視察に至る視点の部分も少し見直していけないところもあり、そちらのほうも改めて7月に協議させていただき、その後視察をまた取り組むということになりましたら事業を皆様方に視察いただいて、結果をまとめていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいいたします。いじょうでございます。

(牛島委員長)

ここにいらっしゃる多くの委員さんの願いを込めて作った第8次中期計画でございますので、それに沿った形で視察できればいいのかなと思っております。ただ、任期があと1年しかないということで任期の壁がちょっとありますが、何とか乗り越えて継続できるような、次の委員さんにバトンタッチできるような中身になればいいなと思っております。

皆様から何か意見ありませんか。

<意見なし>

(牛島委員長)

それではまた7月の会議の時に色々のご意見等出していただければと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。この件終わってよろしいでしょうか。

以上で協議事項(4) 美幌町社会教育委員の研修調査についてを終ります。

5 その他

(牛島委員長)

次にその他に入ります。

はじめに各課課長・館長からの連絡事項

ですが、事務局からご説明がありました通り、お手元に配布されている各課課長館長連絡事項をご覧ください連絡に代えさせていただきますと思います。

最後に次回会議の日程について、事務局より報告をお願いいたします。

(立花社会教育課長)

本日は、大変ボリュームのある中身を協議いただきありがとうございます。

次回会議につきましては、7月14日木曜日になりますが、本日と同じく18時30分から、本日と同じ会場での開催を予定しております。

次回会議につきましては、議案の説明の中で触れましたけど、調査研究と事業視察について議題を予定しております。

正式な案内等については後日別途送付させていただきますので、改めて確認いただきながらご出席のほどよろしく願いしたいと思います。以上であります。

(牛島委員長)

ありがとうございました。次回会議は7月14日木曜日に予定をいたします。18時30分からこの会場になりますので出席のための調整をひとつよろしく願いします。長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第2回美幌町社会教育委員会議を終了いたします。みなさま大変お疲れさまでした。

【閉 会】